

くらし・福祉の応援を!

「保育園落ちたの私だ」の声にこたえて

保育料の 第2子の負担が軽く

兵庫県は、国の第3子保育料が軽減されるのにあわせ、県独自に第2子の保育料軽減(2.1億円)を発表。日本共産党兵庫県議団は、さらなる軽減や、待機児童対策に不可欠な保育士の確保と給与の改善を求めて奮闘しました。

私立高校の 授業料への支援すむ

これまでの日本共産党兵庫県議団のとりくみと関係者の願いが反映し、私立高校授業料の軽減補助で、国制度に上乗せする兵庫県分補助が増え、授業料の負担が軽くなりました。また、市町スクールソーシャルワーカー

とスクールカウンセラーの配置の支援や、特養ホームの補助単価や対象拡大、イノシシ生活被害防止対策、神戸電鉄粟生線の活性化にむけた支援なども拡充されました。
今後とも、県民のみなさんの要望にもとづく活動を強めていきます。

16年連続
予算組み替え



日本共産党兵庫県議団は、厳しいくらしの声を受けとめて、県民サービス削減の「行革」の立場ではなく、県民のいのちと暮らしを守る兵庫県政をつくるため、批判とともに、具体的な提案活動として、予算組み替え提案を行ってきました。今年で16回目となります。

UP↑

- こども医療費を高3まで無料化 68億円
- 小学校5年生まで35人学級に 6億円
- 保育士の給与をあげる支援 2億円
- 中小企業の正社員転換支援 2億円
- 老人・ひとり親・障害者医療助成 2億5千万円
- 私立高校の授業料の軽減 1億円
- 住宅・保育所の耐震化 1億8千万円
- 住宅リフォーム・バリアフリー 1億6千万円
- 家庭用太陽光発電補助の復活 1億円

DOWN↓

- 大企業中心の立地補助 △17億円
- 神戸空港・但馬空港など △11億円
- ダム △11億円
- 道路関連 △95億円
- マイナンバーなど △7億円
- 県債(借金) △217億円

自民 「行革を根底からくつがえすもの」
公明 「投資的経費の削減に賛同できない」
民主 「趣旨は理解できるが、一方的なもので混乱する」
維新の会 「河川や教育費の一部の削減に賛同できない」

宝塚市



ねりき恵子
団長
文教常任委員

西宮市



いそみ恵子
政調会長
健康福祉常任委員

神戸市東灘区



きだ 結
政調副会長
産業労働常任委員

尼崎市



庄本えつこ
総務常任委員

姫路市



入江 次郎
建設常任委員

日本共産党

兵庫 県会報告

発行所 日本共産党兵庫県議員団
神戸市中央区
下山手通5丁目10-1
(078) 341-7711 内線5251

2016年春季号(第162号)

県会議員団

検索